

国語：夏の俳句

⑨

松尾芭蕉へまつお

はしう

閑かさや
岩にしみ入る
蟬の声

とて静か
で蟬の鳴
く声だけ
が岩山に
しみ入る

五月雨を
あつめては
やしな
最上川

最上川は、
降り続く
五月雨を
集めて水が
あふれて
流れてい
る矢のよう
なスピード

夏草や
兵どもが
夢のあと

兵士たちが
戦った土地
も今となつ
ては草が生
い

